

ボール名

## MANIAC

センター名

南橋本ボウル

投球者

笠原 正光 P

日付

2009/2/5

### レイアウト

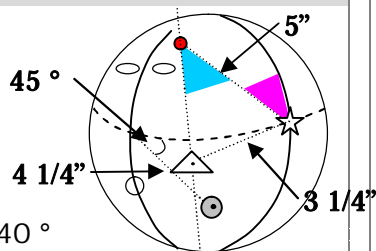
#### テストボール

ボール名: マニアック

PAP ピン: 5 インチ

表面加工: ポリッシュ

ドリルアングル ▲50° VALとのアングル ▼40°



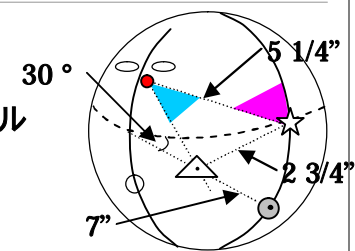
#### 比較対象ボール

ボール名: クリーチャーパール

PAP ピン: 5 1/4 インチ

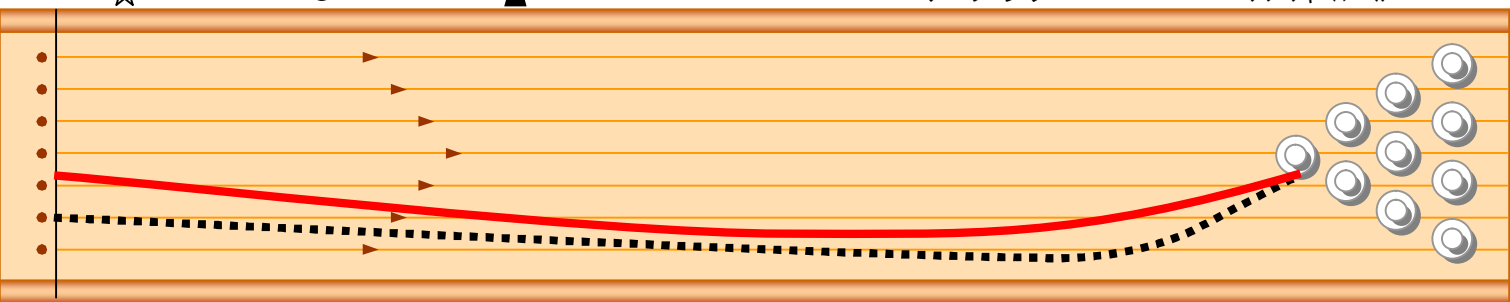
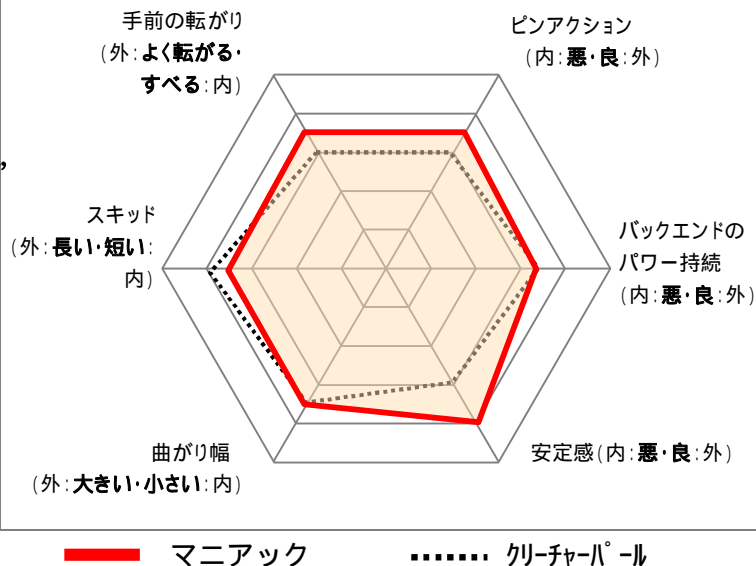
表面加工: ポリッシュ

ドリルアングル ▲40° VALとのアングル ▼75°



● ピン ☆ PAP ▲ CG ● バランスホール ▲ マスバイアス

### 特性チャート



### 総合評価

マニアックとクリーチャーパールを比較してレポートします。  
 マニアックの箱出し状態で投げたところ、スムーズサンドされた表面のせいか、比較的手前からレーンをキャッチしてしまい、軌道も緩やかだったので、今回はポリッシュした状態で比較しました。  
**ポリッシュしても軌道は緩やかなアークを描きますが、手前の走りが増し、シャープな動きになります。フレアポテンシャルのある新しいコアと、ソリッド系カバーの組み合わせで、予想していた以上に安定感を感じます。バックエンドで暴れることもなく、ラインを簡単に取ることができます。**  
 一方で、幅を取るボウリングには向かないと思われます。  
 今回、ピン位置を5インチにセットしたのですが、マニアックの転がり感とフレアポテンシャルを生かすのであれば、4インチ程度でも良かったのではないかと思います。  
 先ず、中間的なカバー<S50>のマニアックでラインを合わせ、先でのリアクションを求める場合にクリーチャーやリンク、手前からのリアクションを求めるならブレイク系やバウンティを選ぶなど、組み合わせの工夫でたいのコンディションに対応出来ると思います。